



Information_3

アレルギーのおはなし

少しずつ寒さが和らいでくる頃ですね。暖かな春と共にやってくるのが「花粉症」。悩まれている方も多いのではないのでしょうか。今回は花粉症でおなじみ、アレルギーのお話です。

過剰な防御反応

“アレルギー”とは本来病原体や異物など、有害なものから体を守るはずの免疫が、さほど有害でない物質にまで過剰な反応を起こし、その結果、局所的あるいは全身的にかゆみや赤み、脱毛などを引き起こす病気を指します。

代表的なアレルギー原因物質（=アレルギー）

草木の花粉、ダニ、ノミ、ゴキブリ、カビ ⇒「環境アレルギー」
牛肉、鶏肉、卵、小麦 ⇒「食物アレルギー」

タイプの異なるアレルギー

アレルギーには「即時型」と「遅延型」があります。また、即時型と遅延型の混合型もあります。

	即時型	遅延型
発症までの時間	短時間。15分～半日程。	半日～数日
特徴	IgE が関与	リンパ球が関与
例	花粉症、気管支喘息など	接触性皮膚炎など

アレルギーの原因はさまざまありますが、今回は食物アレルギーに注目してみたいと思います。



アイジーイー「IgE」と「リンパ球」

体内に侵入したアレルギーと戦うため、体の中では抗体とよばれる武器のようなものが作られます。環境アレルギーや食物アレルギーにはIgEという抗体が反応します。

また抗体ではなく、血液中のリンパ球の反応によっておこるアレルギーもあり、犬の食物アレルギーの70～80%がリンパ球タイプと言われています。



アレルギーの原因は何？

リンパ球反応検査

以前は“IgEタイプでおこる食物アレルギーの有無”しか調べることができませんでした。最近はIgEの量やリンパ球タイプの食物アレルギーの有無も調べられるようになり、IgE検査ではわからなかったアレルギーも調べられるようになりました。



スタッフより

アレルギー治療の目的は、かゆみの原因を突き止め、除去食や薬の使用によってかゆみをコントロールし、かゆみによるストレスを軽減してあげることです。アレルギーが気になる方は、治療の第一歩として検査を試みてはいかがでしょうか？

